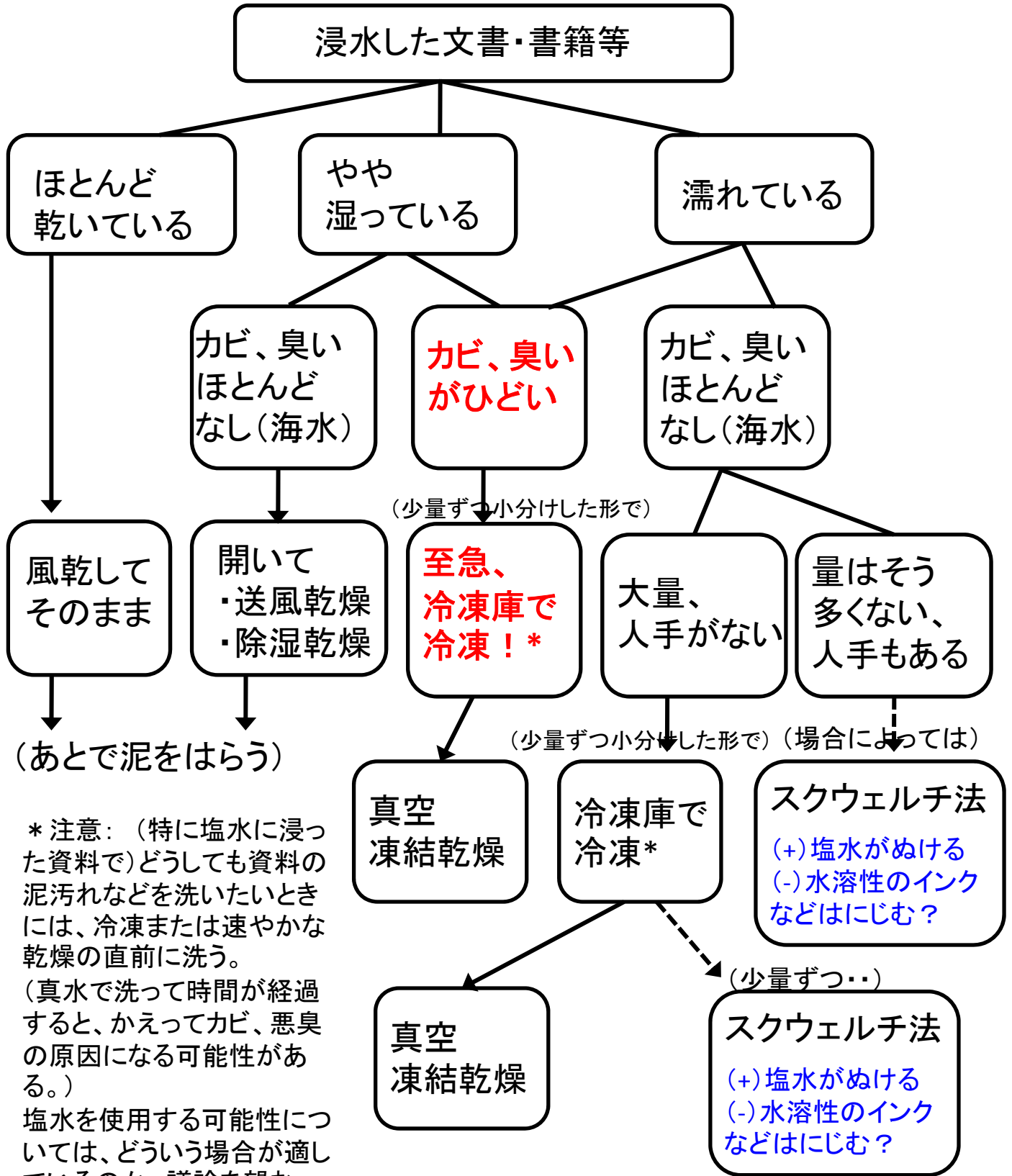


水または塩水で浸水した紙資料のレスキュー法 試案 (フローチャート案)

110506 東京文化財研究所 木川りか・佐藤嘉則



* 注意: (特に塩水に浸った資料で)どうしても資料の泥汚れなどを洗いたいときには、冷凍または速やかな乾燥の直前に洗う。
(真水で洗って時間が経過すると、かえってカビ、悪臭の原因になる可能性がある。)
塩水を使用する可能性については、どういう場合が適しているのか、議論を望む。